

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)  
「中国学と現代中国学構築」研究会 公開ワークショップ

# アメリカ合衆国における中国学の現状と 方法論のパラダイム転換

講師: Mark Selden 氏 (コーネル大学東アジアプログラムプロフェッショナル・アソシエイト)  
劉新 氏 (カリフォルニア大学バークレー校人類学部准教授)

司会・コメンテーター: 加々美 光行 (ICCS 所長・本学教授)

概要 :

P・コーエンによって欧米の中国学が西欧中心主義(オリエンタリズム)の弊害を持つことが指摘されて既に21年が経過する。現実には今なお欧米の中国学には西欧中心主義を含めて種々の方法論上の弊害が克服されていない。日中米三国間の相互理解の欠如による国際情勢の不安定も根本的にはここに起因する。Selden 氏と劉新氏は、現状のアメリカにおける中国学の現状を検討することを通じて、新たな方法論構築のための出口を提起する。

2005年6月18日(土) 10:00~13:00  
愛知大学名古屋校舎 中央教室棟3階第1研究室

\* 講演は英語と中国語でおこないます。(日本語通訳あり) \* 申し込み不要

【主催】愛知大学国際中国学研究センター

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料